



林業福島

No. **610**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 齋藤卓夫



6

2015

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■新緑の中へ



新任あいさつ

(一社) 福島県造園建設業協会
会長 諸井道雄

一般社団法人福島県造園建設業協会（現在会員数一二〇名）が、設立四〇周年を迎える節目の今年、会長に就任いたしました。

昭和五〇年四月三〇日林業会館会議室において、「会員一人一人の力をここに結集し、国民的財産ともいえる緑の担い手としての誇りと自覚をもち、常に技術研鑽をし、県内の造園業界の発展に寄与するものである。」を設立の趣旨として、会員三二名で大きな第一歩を踏みだしました。

そして、ここ四〇年の間に、時代とともに人々の緑や庭に対する価値観も変遷し、精神的な活用も求められるようになってきました。かつては、再生可能な生産資源であった緑も、環境資源へと変わり、そして文化資源としても見直されるようになり、安らぎや情操教育の場など新しい効用が期待されるようになってきました。

庭もまた、家族の成長とともに趣味や生活スタイルが変わったり、家屋の建て替え等で庭の配置形状の変化等に伴い、リ・ガーデンという新しい感覚で庭を生き返らせることもできるのです。四〇年前には一般的ではなかったことですが、今、私たちには多種多様な感性や技術が求められています。

また、協会の事業に、庭や緑に対する思いを手紙にたくす「みどりの文」募集があります。応募者は、六歳〜九九歳まで全国からの応募があり、みどりは、文化的な事業展開の素材にも十二分になり得るということです。今年はおかげ様で第十回目となり、特別企画として「フォトメッセージ」部門を設けました。次の世代に残したい緑や庭の風景を写真にし、メッセージを添えていただくという内容で、また新しい展開が期待できます。

しかし、今の福島は、残念ですが、庭の緑、街路樹、公園の緑が失われつつあります。除染で樹形もなく伐採されたこの樹木たちが、本来の樹形を取り戻すまでの歳月の長さを思いながら、造園を生業としている私達は「緑の再生なくして、あるいは造園業者の出番なくして福島の復旧・復興に終わりはない」と強く考えます。

平成三〇年開催の「全国植樹祭」では、この福島から緑の生命、自然の生命の大切さを全国に発信していく、その意義の深さを改めて感じるところであります。緑豊かな、緑かがやける福島の再生を願うご挨拶とさせていただきます。

《も く じ》

とびら	全国植樹祭コーナー……………	7
新任あいさつ	「自然に親しむ」……………	8
(一社)福島県造園建設業協会 会長 諸井 道雄 ……	普及指導員通信……………	9
「緑の募金」街頭キャンペーン ……………	◆ 森林管理署メモ……………	10
緑の少年団 活動実績発表大会……………	苗協だより……………	11
木製品の寄贈による復興支援……………	木材市況・ふくしま東西南北……………	12
フォレスト助成認定事業活動発表会……………	はなしのひろば……………	13

平成27年度

「緑の募金」街頭キャンペーン

緑化運動標語

「今植えた 小さなその芽が 大きな未来」

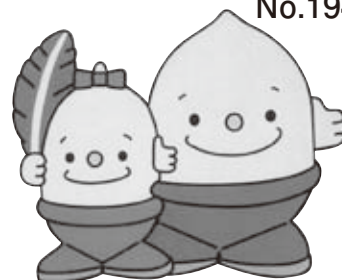
4月25日（土）、JR福島駅前周辺で「緑の募金」街頭キャンペーンを実施しました。

この街頭キャンペーンは、毎年、春季募金運動推進期間（4月1日～5月31日）に、福島市緑化推進委員会を中心に（公社）福島県森林・林業・緑化協会と共催で実施しています。

市内の荒井小、岡山小、佐倉小、佐原小、土湯小の5つの小学校の緑の少年団を含め総勢約130名が参加しました。緑の少年団の子どもたちは、街行く人達に元気な声で募金を呼び掛けました。

緑の募金コーナー

No.194



募金風景 元気な声で呼びかける緑の少年団

緑の募金にご協力いただいた方には、緑の羽根をお渡しする際、花苗、花の種をお配りしました。

- ベゴニア、マリーゴールドの花苗
- カモミール、サルビア、バジル、ひまわり、マリーゴールドの花の種



マリーゴールド



ベゴニア

小さなお子さんからご年配の方まで老若男女問わず、募金に協力していただいた多くの皆さん、本当にありがとうございました。

「緑の募金」は、緑化の推進、青少年の育成などに活用させていただいております。

今後とも、「緑の募金」へのご協力よろしくお願いたします。

平成27年度 第36回 福島県緑の少年団活動実績発表大会

日 時	平成27年5月19日（火）
場 所	ビッグパレットふくしま 3階 小会議室2・3
主 催	福島県緑の少年団育成協議会 公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
後 援	福島県 福島県教育委員会 関東森林管理局

5月19日（火）、郡山市にあるビッグパレットふくしまにおいて、「平成27年度 第36回福島県緑の少年団活動実績発表大会」を開催しました。

本大会は、新緑が映えるこの時期（5月）に毎年開催しています。

今回、9団の緑の少年団が参加し、発表では5団の各少年団の代表（団長、副団長等）が昨年度1年間取り組んできた学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動について発表しました。

審査結果（参加団含む）は次のとおりです。

福島県知事賞
会津若松市立大戸小学校緑の少年団
福島県教育委員会教育委員長賞
会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団
関東森林管理局長賞
矢祭山みどりの少年団（矢祭町立内川小学校）
福島県緑の少年団育成協議会長賞
猪苗代町立緑小学校緑の少年団
奨励賞
会津若松市立謹教小学校緑の少年団
その他参加団（発表なし）
郡山市立穂積小学校緑の少年団
田村市立緑小学校みどりの少年団
飯豊小学校緑の少年団（小野町立飯豊小学校）
相馬市立山上小学校緑の少年団

審査講評のなかで、審査委員長の県教育庁社会教育課主幹の鈴木基之氏は、「どの少年団もそれぞれ自然について学習し、自校の花壇などの整備で緑を守り育て、募金活動などでその大切さを地域の人たちに広める活動をしている。」「①昨年の活動で良かった点については継続して、また良くなかった点については改善策を考え改善し、より充実した活動を行ってほしい、②先輩たちから引き継いだ緑を守り育てていく活動を後輩たちに引き継いでほしい、③これから緑の少年団を退団しても、花や木々を愛する気持ちを持ち続け、それを守り育て増やしていく活動を自分の身の回りの範囲で良いのでずっと継続していけるような人になってほしい。」と話されました。

県知事賞を受賞した会津若松市立大戸小学校緑の少年団の井上流那団長（5年）、小林快誠副団長（5年）は「みんなで頑張って（県知事賞に）選ばれ、とても嬉しい。」とコメントしました。

表彰式は、7月24日（金）開催予定の第41回福島県緑の少年団大会（同会場コンベンションホール）の席上にて行う予定です。

大会風景



主催者あいさつ



福島県知事賞に選ばれた会津若松市立大戸小学校緑の少年団
井上団長（右）、小林副団長



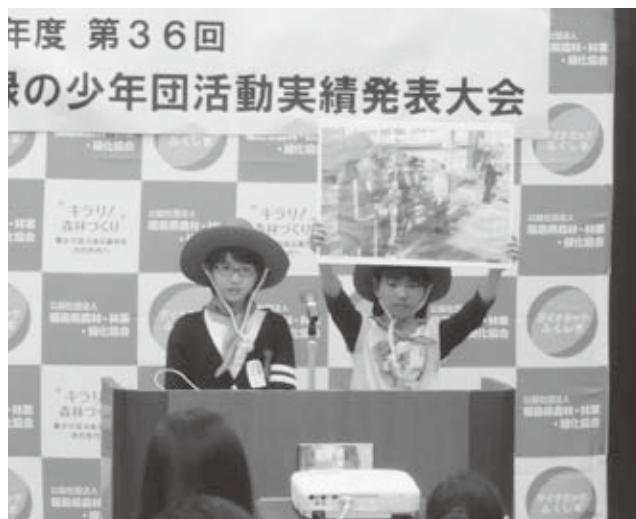
会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団



関東森林管理局長賞に選ばれた矢祭山みどりの少年団、
全国大会の推薦校へ



猪苗代町立緑小学校緑の少年団



会津若松市立謹教小学校緑の少年団



復興1462日目、
今日も、未来がつかわれている。

積み木寄贈の取組みを紹介
平成27年3月12日新聞一面広告

- ・積み木寄贈先施設数・五九四施設
- ・積み木寄贈数・九六九セット

林組合連合会と連携し、屋内でも遊べる遊具として、県産材を活用した積み木の寄贈をしております。

〈積み木寄贈実績〉

- ・積み木寄贈先施設数・五九四施設
- ・積み木寄贈数・九六九セット



浪江町立浪江小学校、同町立津島小学校への木製テーブルの寄贈

木製品の寄贈による 被災地域の復興支援

農林中央金庫福島支店
農林水産環境事業班 高橋陽介

農林中央金庫は、農林水産業を基盤とする協同組織中央機関・専門金融機関として、東日本大震災により甚大な被害を受けた農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため、平成二三年度に、支援額三〇〇億円の復興支援プログラムを創設しました。

当金庫福島支店では、この復興支援プログラムに基づく取組みとして、福島県森林組合連合会および被災した沿岸部の森林組合と連携し、被災地の復旧・復興支援とし、地元自治体等に県産木材を活用した木製

テーブルや積み木等を寄贈する取組みを行っています。

■福島県森林組合連合会と連携した、幼稚園・保育園等への積み木の寄贈

福島県は、東日本大震災に伴う原発事故以降、子どもを屋外で遊ばせることに不安を感じる保護者が多いことから、子どもたちは満足に屋外で遊ぶことができていません。

そこで、当金庫福島支店は、子どもたちのびのび遊べる環境づくりを支援することを目的に、福島県森林組合連合会と連携し、屋内でも遊べる遊具として、県産材を活用した積み木の寄贈をしております。

■相馬地方森林組合・双葉地方森林組合・いわき市森林組合と連携した、地元自治体等への木製テーブル・ベンチ等の寄贈

東日本大震災による津波被害や、同震災に伴う原発事故で大きな影響を受けた地域住民は、現状、浜通り地域を中心に避難を続けています。このため、浜通り地域の一部において急激に人口が増加しており、これら地域において、生活環境の改善が急務となっております。たとえば、行政施設、教育・福祉施設、市民公園などのパブリックスペースにおいて、テーブルやベンチ等が不足していました。

そこで、当金庫福島支店では、浜通り地方の三森林組合と連携して、上述の公共施設、パブリックスペースに対し、木の温もりを感じられる県産材を活用した木製のテーブルや椅子などを寄贈しております。

〈木製品寄贈先実績〉

- ・新地町・町役場庁舎、相馬地域開発記念緑地公園、新地町立小学校
- ・相馬市・相馬市立小学校、相馬市立児童センター
- ・南相馬市・大町地域交流センター

木製品寄贈の取組みは、平成二七年度も継続予定ですので、当金庫福島支店は、福島県森林組合連合会や森林組合と連携し、県産材を活用した木製品寄贈を行うことによる、被災地域の復興を引き続き積極的に進めてまいります。

フォレスト助成認定事業 活動発表会

(一般財団法人)福島県林業会館

フォレスト助成金(協賛)事業制度は平成十一年六月十一日に創設されました。制度ができるまで委員会を設置し検討を重ね、地道に林業関係事業に取り組んでいる団体に一事業二〇万円を限度に、できるだけ多くの団体に助成することになりました。

初年度は二件三三三三円の申込みでしたが、十六年が経過した昨年度は三〇件四、五二〇千円(協賛も含む)となり、現在までの累計は三〇〇件四七、三〇五千円となりました。毎年僅かの金額ですが森林林業関係には貢献できたのかと思います。

当法人は昨年一般財団法人に移行しましたが、この助成金制度は公益事業として続けることになりました。公益性を維持するため認定事業審査会には外部から四名の審査員を加え、申込者、事業内容など厳正に審査し選定しています。森林・林業事業のため年数が二年以上にわたる課題はありますが、継続的に取り組む必要があると考えております。

この発表会は、平成二四年度から

総会開催時に前年度認定事業の中から二事業を選び実施内容を発表していただいています。

今年度は、夕日ヶ丘森花(シンカ)倶楽部と台松塚館跡保存会にお願いしました。

夕日ヶ丘森花(シンカ)倶楽部は、岳温泉鏡ヶ池を中心とした里山の整備と森林とのふれあい推進事業を行うボランティア活動団体です。活動は毎年三月から始まり十一月まで毎月二、三回で年間二四回、各自



夕日ヶ丘森花倶楽部

弁当、道具持参で森林整備、キノコの原木づくり、巣箱づくりなど素晴らしい活動をしています。平成二〇年には福島民報社のみどりの大賞に選ばれています。発表会では事務局長鈴木正さん、副会長立花千秋さんと事務局の立花千春さんが発表しました。

荒廃していた戦国時代の館跡を地区全員で整備し憩いの場所とする計画と、昨年はドウダン、モミジなど二〇〇本植樹した事業を説明しました。この地区は人口減など過疎化の問題もありますが、自然の宝庫に恵まれ国指定の「杉沢の大杉」もこの地区にあります。台松塚館の史跡を整備し、次の世代にも誇れるような魅力ある里山づくりに強い熱意で取り組んでいく心構えを発表しました。



台松塚館跡保存会

全国植樹祭「リーナー」

～平成二七年度の事業計画等～

森林保全課

第六九回全国植樹祭の開催に向け、本年度は次の事業に取り組み
こととしております。

一 実行委員会の設立

全国植樹祭の成功に向け、会長である知事を始め、県内各界の代表者
を構成員とする実行委員会を設立し、全国植樹祭の事務を行うとともに、
総会において基本計画・実施計画の策定などについて審議いただくこと
としました。

第一回実行委員会総会は、平成二七年度事業計画、収支予算、専門委
員会の設置などを議題として、六月に開催することとしております。

総会は、今後平成三〇年度まで年二回程度開催することとしており、次
回は十一月に開催する予定です。

二 全国植樹祭に係る主な予定

六月～ 基本計画案の検討開始

八月 第六九回全国植樹祭の本県開催決定
専用ホームページの立ち上げ

十一月 シンボルマーク及び開催テーマの公募開始
第二回実行委員会総会

翌二月 国土緑化推進機構による式典開催地現地調査、決定
シンボルマーク及び開催テーマを決定

三 全国植樹祭PR活動

全国植樹祭開催の気運を盛り上げるため、機会を捉えてPR活動を行
います。

○ふくしまDC期間に併せて、花見山、天鏡閣及び昭和の森で広報活動を
行いました。

六月六日から七日にかけて、白河市で開催される「ご当地キャラ夢フェ
スタ」において、ブースを設けPR活動を行いますので、皆様のお越し
をお待ちしております。

○その他のPR活動

- ・地方植樹祭におけるPR（五～六月、十～十一月）
- ・会津まつり、おいしいふくしまいただきますフェスティバル（九月）、
うつくしま育樹祭、林業祭（十月）、ふくしま大交流フェア（翌一月
東京）など各イベントでPR活動を展開します。

四 森と遊ぶ交流会(仮称)の開催

八月にふくしま県民の森で、県内小
学生五〇〇人程度の参加を予定し、森
内のオリエンタリングなど野外活
動を行うこととしております。

五 苗木のスクールステイ

県内の小学校で、全国植樹祭、地方
植樹祭や緑化イベントなどで活用する
苗木を育てるスクールステイを実施し
ます。



昨年のスクールステイモデル校における
どんぐり播種の様子

祝
第69回
全国植樹祭
ふくしま
2018
開催

ふくしまから
はじめよう。
Future from Fukushima.

全国植樹祭のぼりデザイン

「自然に親しむ」

福島県の巨樹・名木 | 3 |

杉沢の大スギ

樹木医 鈴木俊行



「杉沢の大スギ」は、二本松市杉沢字平地内に生育している。生育地は旧岩代町にあり、二本松市と田村市の境いに当たる場所である。大スギにまつわる言い伝えとしては、江戸時代初期の寛永二〇年（一六四三年）、二本松藩主丹羽光重が領内を巡視した際、この大スギの見た事さに感嘆し、「杉沢の杉」と命名

したといわれる。これにより、当時、菅野沢村と称した村名も杉沢村に改めたと伝えられている。また、大スギに纏わる物語として、「あだち野のむかし物語」の中に「お杉さんの伊勢まいり」が語り継がれている。話は、今から千年ほど昔のこと、大杉の精が美しい娘になって、京の都から来た若者と夫婦

になり、伊勢参りしたというものである。明治時代には、この大杉の地籍争いが生じ伐採の危機に直面したが、明治二四年（一八九一年）時の県知事の行政処分により免れた。「杉沢の大スギ」は、全国の数多いスギの中でも、頂部から下部までしっかりと枝葉をつけ、樹勢は比較的良好で、端正な樹形は他に類を見ない存在であり、完全な独立木で、まさにスギらしいスギとしては日本一と言っても過言ではないだろう。本樹は、昭和十八年八月十四日国の天然記念物に指定されている。指定樹齢は六〇〇年とも一〇〇〇年とも言われている。形状は、現地の解説版では樹高が五〇・〇メートルとなっているが、かつては樹高六八・〇メートルといわれ、日本で最も背の高いスギと言われたこともあった。しかし、最近私が計測したところ、三六・五〇メートルに届かない樹高であった。幹周は一二・六〇メートル、根元周は二二・五〇メートルで、かつては大小の腐朽開口があったが、外科的治療や肥大生長などにより目立たない状態となっ



ている。しかし、主幹内部は空洞化しており、大人数人が入れる大きさとなっていて、真中に仕切りのような壁があり、これは以前から本樹は二本が融合して一本になったスギではないかと言われて来たが、解決のカギになりそうだ。枝張り、東一一・六〇メートル、西一二・七〇メートル、南一二・七〇メートル、北一〇・五〇メートルと均一のとれた樹形をしているが、ここ数年の間で、大雪や大風によって主に南東側の枝が折れ、主幹が見えるようになってしまったが、それがまた巨樹として圧倒してくる。大スギの周辺には木道が整備され、周辺も耕地として環境が保たれ、保護保全体制も万全で、スギの単木としては国内でも最大級といわれる本樹とあわせ、こうした保護保全の姿勢も見ていただきたい日本一のスギである。

高校生がデザインした家具で創る 「ほっと」スペース

■県北農林事務所
林業普及指導員 新津 修

平成27年3月20日に伊達市にある公益財団法人仁泉会北福島医療センターロビーに、高校生がデザインをした県産木製品（テーブル、椅子）で「ほっと」スペースが設置されました。

「新「ほっと」スペース創出事業」は、農林事務所が高等学校等と連携して製品の製作を行うことによる木育活動の支援を目的の一つとしています。

高校生が木製品を製作するのは、技術的、時間的にも難しい。そこで、高校生にデザインだけお願いし、製作は専門家をお願いすることを決め、DC 2（伊達クラフトデザインセンター）の白井さんに相談することにしました。

白井さんに新「ほっと」スペース創出事業の趣旨、予算等について概略を話し、協力いただけることとなり、具体的な相談となりました。話を始めてから約10分、今回の事業は伊達市内で完結させることが決まりました。制作はDC 2をお願いすることとして、デザインをお願いする高校と、多くの人に使用していただく設置場所を決める必要がありました。

約1時間後、

保原高校（デザイン） + DC 2（製作） → 北福島医療センター（設置場所） という方針が決まりました。

この時点で了解を得ているのは製作部門だけでしたが、デザインの保原高校美術部、設置場所の北福島医療センターからも了解が得られ、やっと事業がスタートしました。

高校生がデザインするといっても、ものがテーブルや椅子となると人が座ったり、寄りかかったりするので、強度や安定性が求められます。怪我をしないこと、使いやすい大きさであることなどの基本的な事項は、守る必要があります。そこで、高校生がデザインを始める前に、テーブル・椅子とはどのようなものか、また木材の特性や使いやすい大きさ等についてDC 2のメンバーを講師に勉強会を3回開催し、その後にデザインに取り組みました。

冬休み明けにデザイン画ができ、それをもとにDC2のメンバーが、製作用の図面を作成することとしたのですが、自由な感性により作成されたデザインはDC2のメンバーにとっても斬新なものであったようです。

それから約2ヶ月、できあがったテーブル・椅子はデザイン通りあるいはそれ以上の仕上がりとなりました。そのできばえを見て一番驚いたのは、デザインをした高校生本人だったようです。自分のデザインしたテーブル・椅子が公の場所で多くの人に使用していただける。そんな、高校生をちょっとうらやましく思ったのは、私だけではないようです。



高校生の勉強会（保原高校）



北福島医療センターの「ほっと」スペース



八溝山天然林内の沢の流れ（入口近くの歩道上）

四月八日の積雪を最後に日差しは日々強さを増し、当署でも「造林事業（植付作業）」をかわきりに、間伐により出材される丸太を販売する「製品販売事業」、「松くい虫特別防除事業」、「林業専用道新設事業」といった平成二七年度の各種事業が本格的にスタートしました。また今年度は、五年ごとに見直しがされる

森林管理署メロ

「第五次奥久慈森林計画」の樹立に向けて



棚倉森林管理署

「第五次奥久慈森林計画」の樹立の年に当たり、その準備も併せて進めています。

当森林計画区は棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村の三町一村に所在する国有林野二万二千鈔が計画の対象です。管内は、東部が「阿武隈山地」、西部が「八溝山地」に位置し、県下でも有数の「奥久慈林業地」として、民有林も含め多くの人工林が造成されています。

茨城県境に位置する「八溝山（標高一、〇二二メートル）」一帯は良好な自然環境が維持され、山頂付近に生育する天然性の「アカシデ」、「ケヤキ」が植生する区域を「林木遺伝資源保存林」に設定し、貴重な森林生態系を保全しています。また、「奥久慈県立自然公園」が三町にまたがり設定され、国有林においては、山岳景観とともに生活に密着した里山として、「山本不動森林スポーツ林（棚倉町）」等の自然とのふれあいの場



高性能林業機械を使用した間伐作業

があり、自然体験やキャンプ、保健休養の場等として多くの方々にご利用されています。

「第四次奥久慈森林計画」において「下刈」や「間伐」といった森林整備事業の実施には、高性能林業機械を導入した、地元林業事業体に請負っていただき、年間約七〇〇鈔の造林事業、約四〇〇鈔の間伐事業を実施することができました。

棚倉森林管理署の管理する国有林の人工林面積は一万五千鈔、天然林面積は六千鈔です。人工林の面積割合は主に、スギ（五一％）、ヒノキ（三二％）、アカマツ（一一％）で、人工林の林齢は九齢級（四一〜四五年生）以上が四七％となっており、人工林資源は充実して利用期に達した林分となっています。

「第五次奥久慈森林計画」策定に当たっては、地球温暖化防止に向け

た森林吸収源対策として、引き続き間伐等の森林整備を実施するとともに、次世代のためにも資源の循環利用を通じて、持続可能な森林経営と林齢の偏りを平準化させるため、適切な主伐及び再造林の実施が求められています。一方、再造林における苗木の確保や、植付・下刈に要する造林コストの問題、作業を行う林業事業体の整備等に多くの課題を抱えています。

去る二月二四日には、農林事務所、地元自治体、林業関連団体、自然保護団体等への「森林計画樹立に伴う意見交換会」を開催し、大まかな森林計画の説明を行いました。参加者からは、「引き続き森林整備をしっかりと行ってほしい」と貴重な意見も出され、このことも森林整備の大事な課題として計画していく考えです。



森林計画樹立に伴う意見交換会

苗協メモ

コンテナ苗の育成 苗等現地研修会を開催しました



福島県農林種苗農業協同組合

平成二七年三月二三日（月）～二
四日（火）の二日間、南相馬市の有
限会社上原樹苗の苗畑と茨城県結城
市の公益財団法人日本花の会結城農
場を研修会場に、会津支部組合員十
一名が参加し、「コンテナ栽培の育
成と接ぎ木による桜増殖方法」の現
地研修会を開催しました。

改正された間伐材等及び特定母樹
の増殖の実施の促進に関する方針で
は、造林の低コスト化に向けた取組
の推進として、特定母樹（エリート
ツリー）から採取した種穂を用いた
コンテナ苗による造林・保育の低コ
スト化に向けた技術の確立を求めて
いることから、これまで、積雪地域
でのコンテナ育成を秋田県や岩手県
で研修を重ね、特に、岩手県の吉田
さんの「まずはコンテナ育成に取り
組むことだ、失敗することでも体が育
成技術を覚える。」ことの実践を見
学させていただきました。平成二六

年から試験育成に着手し、雪に埋も
れさせたコンテナ苗の育成結果を体
感しました。結果は、雪による損傷
は少なく、秋田県や岩手県より重い
雪であることから会津地域でのコン
テナ育成は、困難ではないかと危惧
していた課題は解消されました。

初日の研修は、会津森林管理署の
造林計画では、低コスト化への取り
組みとしてコンテナ苗を使用する方
向であることから、有限会社上原樹
苗の苗畑にて課題等を解消する現地
研修会を実施しました。

- ① コンテナには、一二〇ccや一五〇cc、三〇〇ccがあるが、容量が大きいほど苗木は均一である。
- ② コンテナに埋める用土の量は、コンテナ容量の一・三倍を目安とする。
- ③ 用土の詰め方は、用土を詰、苗木を移植、コンテナをトントンし

- ④ 単管の棚にコンテナを乗せると、水キレが悪く根腐れの原因となる。トレーが良い。
- ⑤ 生産規模の根拠は、コンテナ三〇〇ccを使用した場合は、一反当たり十万本である。

二日目の研修は、平成二七年度福島県農林種苗農業協同組合の重点事業である、「社会貢献事業「さくら」プロジェクト」を推進するため、接ぎ木増殖技術の研修を公益財団法人日本花の会結城農場で実施しました。

- ① 種子による苗づくりは、親と同じ形質をつくるのは難しい。
- ② ハダカ苗木では、ひげ根が多いと元気な苗木と思われがちであるが、実は、根切れ苗木が良い。



有限会社上原樹苗のコンテナスギ研修



公益財団法人日本花の会田中さんから話を聞く

- ③ ソメイヨシノ系を増殖する台木は、オオシマザクラ二年生を使用すると良い。
 - ④ 穂木の採取は、一月に採取し五℃以下で保管、台木が動き出す三月に継ぐと良い。
 - ⑤ 畑の管理は、サクラは連作障害を発生する作目であることを忘れないこと。
- 研修実施から二ヶ月がすぎましたが、会津地域では、秋までに約三千本のスギコンテナ苗の出荷に着手しました。また、「さくら」プロジェクトは、富岡町「夜の森サクラ」から接ぎ穂を採取し、五〇〇本の接ぎ木増殖に取り組みました。
- 早期に研修成果を発揮できたのは、上原樹苗の上原さんと日本花の会の田中さんのおかげです。ありがとうございました。

木材市況

素材の価格〈工場着価格〉(3月15日現在)

(単位: m当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~9)	△1	(0~0)	0	10 (9~10)	0	9 (8~10)	0
		10~13		並	スギ	12 (11~14)	0	11 (11~11)	0	11 (10~12)	0	12 (10~14)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	13 (11~14)	0	10 (10~10)	0	12 (12~13)	0	12 (10~14)	0
				並	ヒノキ	14 (14~14)	△1	(0~0)	0	17 (16~17)	1	16 (14~17)	0
		6.00	並	スギ	17 (16~18)	0	8 (8~8)	0	16 (14~18)	0	15 (8~18)	0	
			並	ヒノキ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	23 (19~27)	0	24 (19~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	13 (11~14)	△1	12 (11~12)	0	12 (11~13)	△1	12 (11~14)	△1	
		4.00	並	アカマツ	9 (9~10)	△1	(0~0)	0	9 (9~9)	△1	9 (9~10)	△1	
		1.80	並		7 (5~8)	0	(0~0)	0	8 (8~8)	1	7 (5~8)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(0~0)	0	(0~0)	0	31 (26~36)	0	31 (26~36)	0
並				米マツ	35 (35~35)	0	29 (29~29)	0	32 (28~36)	0	32 (28~36)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	28 (26~29)	0	28 (26~29)	0	
			並	ベニマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	33 (29~37)	0	33 (29~37)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
				並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	5 (5~5)	0	5 (5~5)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	7 (7~7)	0	7 (7~7)	0	

二月の原木市場への入荷状況は、前月比六割増(前年比二割増)の三二、一二三立方材となっている。
 販売量については、前月比七割増(前年比九割増)の三一、八三二立方材となっている。
 三月の価格については保合が続いている。

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0~0)		7 (6~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(0~0)		8 (7~8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0~0)		11 (10~12)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. () 内は各地域の価格幅、() 外は各地域の平均価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
 4. 各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

昭和四五年、猪苗代町で開催された「全国植樹祭」について、すでに他界している祖父「じいや」の話を聞いていました。
 当時、地区の農業委員長を任されていた関係で田島町(現南会津町)から、「ででみねえが」と誘われ、旅行好き「じいや」なので、その場で参加すると返答したそうです。
 全国植樹祭開催の数年前には、開催候補地として「檜枝岐村の尾瀬」という情報が新聞に載ったこともあり、木材産業の活発な会津の地に決めたのだらうと言っていました。
 開催前日、「じいや」が会津若松市の温泉旅館での前夜祭に参加しているとときは大雨で、開催をみんな心配したそうですが、当日の五月晴れに特別な感動があったと聞きました。
 「猪苗代湖を望む天鏡台において皆さんと植樹ができることは喜び」と天皇陛下のお言葉の後、両陛下、そして参加者が植樹を行ったそうです。
 第二回全国植樹祭から本年五月で四五五年が経ちました。
 猪苗代町開催から四八年目となる平成三〇年、南相馬市での開催は、震災(津波)により失われた海岸線の復旧が大きな目的であり、全国植樹祭を国の行事として開催するきつ



「じいや」と全国植樹祭

福島県南会津農林事務所
 森林林業部林業課 鈴木比良

昭和四五年、猪苗代町で開催された「全国植樹祭」について、すでに他界している祖父「じいや」の話を聞いていました。
 当時、地区の農業委員長を任されていた関係で田島町(現南会津町)から、「ででみねえが」と誘われ、旅行好き「じいや」なので、その場で参加すると返答したそうです。
 全国植樹祭開催の数年前には、開催候補地として「檜枝岐村の尾瀬」という情報が新聞に載ったこともあり、木材産業の活発な会津の地に決めたのだらうと言っていました。
 開催前日、「じいや」が会津若松市の温泉旅館での前夜祭に参加しているとときは大雨で、開催をみんな心配したそうですが、当日の五月晴れに特別な感動があったと聞きました。
 「猪苗代湖を望む天鏡台において皆さんと植樹ができることは喜び」と天皇陛下のお言葉の後、両陛下、そして参加者が植樹を行ったそうです。
 第二回全国植樹祭から本年五月で四五五年が経ちました。
 猪苗代町開催から四八年目となる平成三〇年、南相馬市での開催は、震災(津波)により失われた海岸線の復旧が大きな目的であり、全国植樹祭を国の行事として開催するきつ

かけとなった「戦後の荒廃した国土の緑化」と同じ思いと考えられ、復興の実現と御支援して頂いた全国の皆様への恩返しになるものです。
 開催準備には、日々苦勞が絶えないものと思いますが、多くの県民や参加された県内外の方々の感動が代々伝えられるような植樹祭になることを期待するとともに、自らも関わり努力したいと考えています。
 第六九回全国植樹祭(南相馬市開催)の成功に向け、県民の皆さんが参加したくなるような醸成活動を行っていくことが、天国の「じいや」も願っていると思います。



現在の「昭和の森」(両陛下お手植えの松)

はなしの
ひるば
時

鎌倉にある大佛次郎邸は、大正九年に建てられた書斎であり、文士仲間との交流の場であった。春には自慢のシダレザクラを愛でたそうだ。その邸は、今は「大佛次郎茶亭」として土・日の正午頃から日没まで公開されている。茶菓子をいただくこともできる。

いわき市にある「まどのそとのまたむこう」という名の絵本美術館は、週に一度だけ十時〜十四時まで予約制で入館できる。

この時間帯には、ステンドグラスから差し込む光のなか絵本が読めるという心くばりである。そして、絵本のタイトルからとったという美術館の名もまたいい。自我という輪郭を解き放ち、創造と果てしない想像をかきたてられる。

この茶亭や美術館は、時計で管理している施設ではない。中心にあるのは、季節ごとを感じる人の体内時計と感性だ。

一昨年、友人と茶亭を訪ねた時の木もれ日のなんときれいだったことか。ここにある樹木たちも、季節とともに生物時計で時を刻みながら、年輪を加えていく。ここでは、自然と人がいたわり合いながら、時間がゆっくりと後ろからついてくる気がする。ゆったりとした時の流れに身を委ねることが、生きるための人のリズムなのだろうと思う。

六月十日は、水時計で始めて人々に時を知らせた「時の記念日」そして次の日、暦では梅雨入りとなる。雨音を聞きながらゆったりとした時を過ごしてみるのがいい。

表紙の写真



「新緑の中へ」

第29回ふくしま緑の写真コンクールで金賞を受賞した吉井勝美さん（福島市）の作品。

編集

発行人

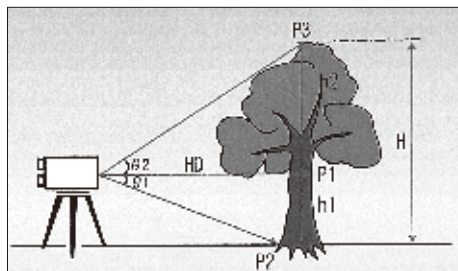
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

相馬 雅俊
陽光社印刷株式会社

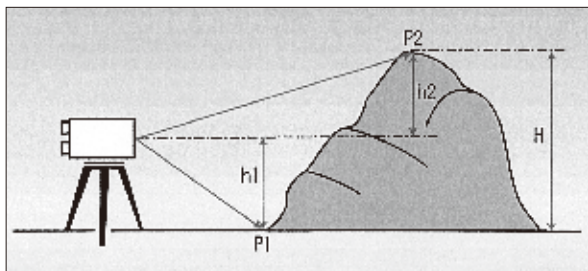
（定価 一〇八円）

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

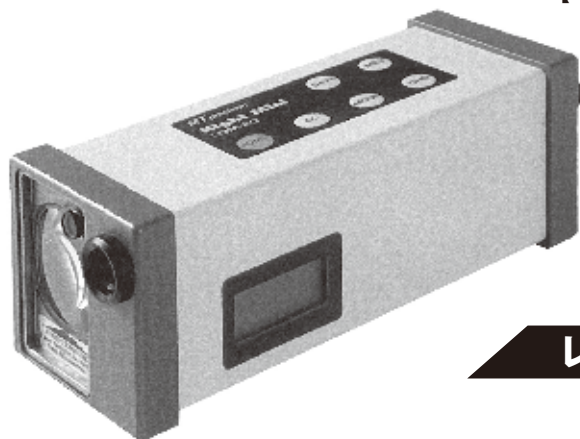


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定寸法	高さ・水平距離・斜距離
重量	W64・H64・D180
付属品	650g
	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

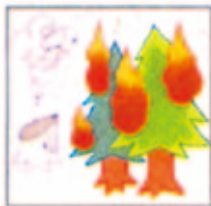
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



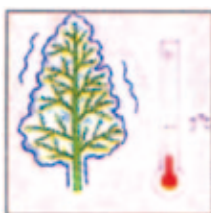
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合

イワフジのプロセッサ

GP-45V グラップルプロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor
MODEL : GP- 45V

イワフジ工業株式会社

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!

昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
平成二十七年六月一日発行(毎月一回一日発行)

監修 福島県農林水産部
編集発行人 相馬 雅俊

発行所 公益社団法人福島県森林林業緑化協会
福島市中町一五番十八号 県林業会館内

定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円(税・送料込)



自然との調和

(私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。)
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

野生獣類から大切な植栽木を守る

ヤシマレント

ヤマビル対策に

マリックスター(駆除剤)

蜂さされ防止

ハチノックL(楽退治)
ハチノックS(携帯用)

タケを駆除する

クロレートS

**大切な日本の松を守る
住化グリーン®の林業薬剤**

ヤシマスミバイン乳剤
ヤシマスミバインMC
グリーンガードNEO
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートマイクロカプセル
マツグリーン液剤2
マッケンジー

くん蒸用生分解性シート

与作シート(茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリーバック使用)



住化グリーン株式会社

本社 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号 TEL.03-6837-9422 FAX.03-6837-9423
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。 機器はゼノアから

チッパシュレッダ



竹もOK!
SR3000-2
出力 22.3kW (質量1,330kg)
水冷ディーゼル
X379301020
¥3,375,000(税抜)

プロソー



GZ3900EZ
排気量 39.1cm³ (質量4.4kg)
RSP 21BPX 967159403 ¥108,000(税抜)
95VPX 967159303
HS 25AP 967159104
91VXL 967159204
HM 21BPX 967159404
95VPX 967159305



GZ4300EZ
排気量 43.1cm³ (質量4.4kg)
45cm(18")
RSP 21BPX 967160502 ¥133,700(税抜)
95VPX 967159902
HM 21BPX 967160504
95VPX 967159904

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1